

須賀一先天性處女膜閉鎖ニ因スル腔血腫ノ一例

(七)閉鎖處女膜切開後ニ於ケル腔壁ノ萎縮狀態。

以上ノ七項ニ關シ嘗テ吾人ノ發表シタル見解ハ(本誌第三三九號、同第三三二號、近畿婦人科學會雜誌第四號、同第五號ノ須賀論文參照)本例ノ實驗ニ因リ、何等之ヲ改ムルノ必要ヲ認メザル者ナリ。

擱筆スルニ當リ余ハ恩師安藤教授ニ對シ謹ンデ滿腔ノ謝意ヲ表ス。

(彌生十八日稿)

●正 誤

前號横川君論文正誤左ノ如シ

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
一	八	經驗ニ就キ	經驗ニ基キ	二六	八	(同上同試驗)	(同上日試驗)
一〇	七	傾ケルノ鱗片	傾ケルモノ、鱗片	二九	一〇	〇・五―	〇・〇五―
一五	一	(第百十八表)	(第百十九表)	三〇	六	胃及腸液ノ	胃液又ハ腸液ノ
二二	六	人腸液	人工腸液	三一	一一	モノニ於テ	モノ、中ニ於テ
二三	三	前ニ試験	前ニ試験	三三	七	得ルモノ、如シ	得ルモノナルヲ知レリ
二三	三	人工腸液〇・一%	人工腸液ハ〇・一%	四二	一三	實行力	穿行力
二三	四	膽汁ヲ注 タル	膽汁ヲ注加シタル				